

2023年7月7日

報道各社 御中

連合熊本「2023春季生活闘争」第4回（最終）集計結果について

日頃より連合運動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
さて、2023春季生活闘争につきまして、熊本県内の賃上げに関する第4回目（最終）の集計を行いましたので、結果を報告いたします。

【概要】

○全国では「未来につながる転換点」となり得る高水準の回答

平均賃金方式で回答を引き出した 5,272 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は、加重平均で 10,560 円・3.58%（昨年同時期比 4,556 円増・1.51 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 3,823 組合は 8,021 円・3.23%（同 3,178 円増・1.27 ポイント増）となった。6 月末時点の結果としては、いずれも、比較可能な 2013 闘争以降最も高く、労使が中期的視点を持って粘り強く交渉した結果であり、「未来につながる転換点」となり得るものと受け止める。

○熊本県でも全国平均を上回る水準で、31 年ぶりに 1 万円突破

熊本県内の定昇相当を含む賃上げ額は、10,576 円・3.80%（昨年比 4,802 円増・1.65 ポイント増）と、1 万円を突破し全国平均を上回る結果となった。賃上げ額が 1 万円を超えるのは 1992 年以来 31 年ぶりであり、賃上げ率が 3% を超えるのは、1994 年以来 29 年ぶりとなる。業種別に見ても、すべての業種でベアが報告されているが、特に製造業と商業流通を中心に大幅な賃上げがなされ、全体を引上げた。熊本においても、労使が粘り強く交渉した結果と受け止める。

○約 9 割の組合がベースアップを獲得し、最高額は定昇含め 2 万円の賃上げ！

報告のあった 76 組合のうち、ベースアップを獲得したのは 68 組合（89.5%）に達し、ほぼ 9 割の組合でベアを獲得となった。さらに、定期昇給とベースアップを合わせて 3% 以上という組合が 40 組合・52.6% と過半数を占め、その最高額は 20,000 円であった。最終評価については、これから機関会議を経て取りまとめることになるが、今回も労働組合が社会を動かしていく「けん引役」として、一定の役割（未組織労働者の賃上げ、および今後の最低賃金の審議などに対する世論喚起）を果たすことができたを受け止める。

【集計組合数の内訳】

	製造業	商業流通	交通運輸	サービス ホテル	情報出版	金融保険	公務	その他	計
2023 年	43	13	13	1	0	1	0	5	76
2022 年	47	7	10	1	0	0	0	7	72

以上

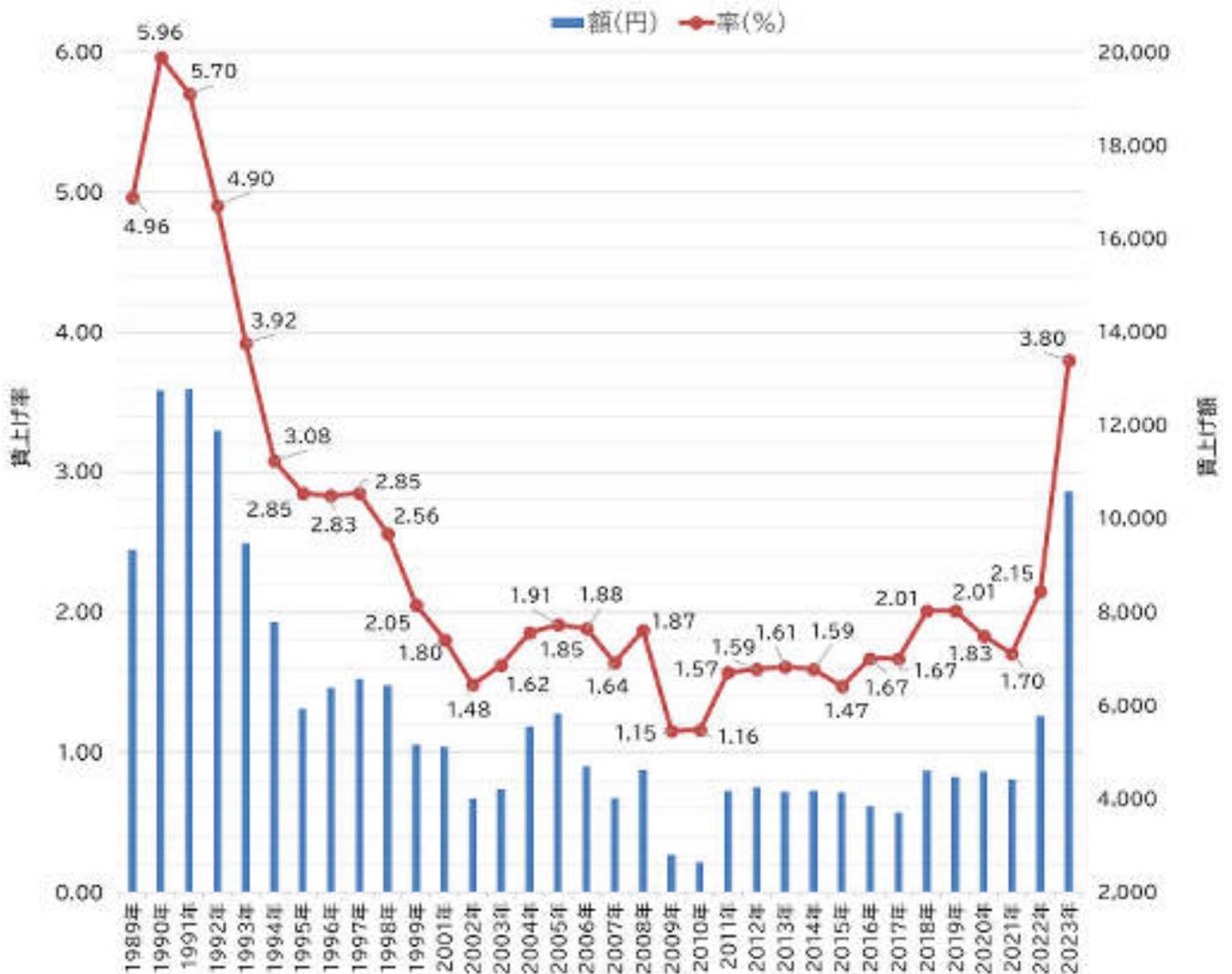
《問い合わせ先》

連合熊本 副事務局長 猿渡

電話：096-375-3811



連合熊本 賃上げ集計推移 (平均賃金方式・組合員一人当たり加重平均)



2023春季生活闘争 賃上げ回答集計

2023年7月6日現在

全国集計		組合員数による加重平均（月額）					
平均賃金方式	2023回答（2023年7月5日公表）			昨年対比	2022回答（2022年7月5日公表）		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
	組合員数				組合員数		
	5,272 組合 2,877,053 人	10,560 円	3.58 %	4,556 円 1.51 ポイント	4,944 組合 2,710,296 人	6,004 円	2.07 %
300人未満	3,823 組合 362,688 人	8,021 円	3.23 %	3,178 円 1.27 ポイント	3,596 組合 340,095 人	4,843 円	1.96 %
300人以上	1,449 組合 2,514,365 人	10,957 円	3.64 %	4,774 円 1.55 ポイント	1,348 組合 2,370,201 人	6,183 円	2.09 %

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

熊本集計		組合員数による加重平均（月額）					
平均賃金方式	2023回答（2023年7月7日公表）			昨年対比	2022回答（2022年7月7日公表）		
	組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
	組合員数				組合員数		
	76 組合 21,809 人	10,576 円	3.80 %	4,802 円 1.65 ポイント	72 組合 17,556 人	5,774 円	2.15 %
300人未満	52 組合 5,784 人	7,482 円	3.12 %	2,794 円 1.18 ポイント	53 組合 5,923 人	4,688 円	1.94 %
300人以上	24 組合 16,025 人	11,693 円	4.05 %	5,127 円 1.73 ポイント	19 組合 11,633 人	6,566 円	2.32 %

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計（熊本集計）

平均賃金方式	2023回答（組合員数による加重平均）					【参考：前年同期】2022回答（組合員数による加重平均）				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分		組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
全体	68 組合 20,918 人	額(円) 10,893 率(%) 3.91	4,111	6,869		44 組合 13,023 人	額(円) 6,223 率(%) 2.33	4,203	1,843	0.74
300人未満	45 組合 5,213 人	額(円) 7,941 率(%) 3.30	3,637	4,305		29 組合 3,402 人	額(円) 5,561 率(%) 2.28	3,934	1,608	0.70
300人以上	23 組合 15,705 人	額(円) 11,873 率(%) 4.11	4,273	7,720		15 組合 9,621 人	額(円) 6,589 率(%) 2.36	4,352	1,927	0.76

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

<7月7日集計結果について>

【全国集計】

平均賃金方式で回答を引き出した5,272組合の「定昇相当込み賃上げ計」は、加重平均で10,560円・3.58%（昨年同時期比4,556円増・1.51ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,823組合は8,021円・3.23%（同3,178円増・1.27ポイント増）となった。6月末時点の結果としては、いずれも、比較可能な2013闘争以降最も高く、労使が中期的視点を持って粘り強く交渉した結果であり、「未来につながる転換点」となり得るものと受け止める。

【熊本集計】

熊本県内の定昇相当を含む賃上げ額は、10,576円・3.80%（昨年比4,802円増・1.65ポイント増）と、1万円を突破し全国平均を上回る結果となった。賃上げ額が1万円を超えるのは1992年以来31年ぶりであり、賃上げ率が3%を超えるのは、1994年以来29年ぶりとなる。また、報告のあった76組合のうち、ベアを獲得したのは68組合（89.5%）であり、ほぼ9割の組合でベアを獲得した。さらに、定昇とベアを合わせて3%以上という組合が40組合・52.6%と過半数を占め、その最高額は20,000円であった。業種別に見ても、すべての業種でベアが報告されているが、特に製造業と商業流通を中心に大幅な賃上げがなされ、全体を上げた。熊本においても、労使が粘り強く交渉した結果と受け止める。